

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和2年4月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,281
		2号炉	4,272
		3号炉	3,088

項目	データ	測定位置	結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)		燃焼室 出口	1号炉	4月30日	928	800 以上
			2号炉	4月30日	956	
			3号炉	4月22日	956	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)		集じん器 入口	1号炉	4月30日	170	概ね 200 以下
			2号炉	4月30日	170	
			3号炉	4月22日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ ¹ (ppm)		集じん器 出口	1号炉	4月30日	11	100 以下
			2号炉	4月30日	8	
			3号炉	4月22日	9	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

項目	データ	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類※ ³		1回/年	煙突 (サブリング*口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
				2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
				3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

項目	データ	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物		1回/2月	煙突 (サブリング*口)	1号炉	4月24日	5月19日	0.22 m ³ N/h	86.4 m ³ N/h
		6.4 ppm						
ばいじん		1回/2月					<0.00071 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素		1回/2月					41 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
		25 ppm						
窒素酸化物		1回/2月					79 ppm	180 ppm
全水銀		1回/4月			1.4 µg/m ³	50 µg/m ³		
硫黄酸化物		1回/2月	煙突 (サブリング*口)	2号炉	4月23日	5月19日	0.42 m ³ N/h	84.8 m ³ N/h
		13 ppm						
ばいじん		1回/2月					<0.00069 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素		1回/2月					32 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
		19 ppm						
窒素酸化物		1回/2月					82 ppm	180 ppm
全水銀		1回/4月			17 µg/m ³	50 µg/m ³		
硫黄酸化物		1回/2月	煙突 (サブリング*口)	3号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h
		ppm						
ばいじん		1回/2月					g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素		1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
		ppm						
窒素酸化物		1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀		1回/4月			µg/m ³	50 µg/m ³		

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和2年5月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	3,894
		2号炉	4,573
		3号炉	1,849

データ 項目	測定位置	結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	5月31日	919	800 以上
		2号炉	5月31日	952	
		3号炉	5月31日	928	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	5月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	5月31日	170	
		3号炉	5月31日	167	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	5月31日	16	100 以下
		2号炉	5月31日	10	
		3号炉	5月31日	11	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備に たい積したばいじん※ ² の除 去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サブリング*口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング*口)	1号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm		
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月				ppm		180 ppm
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング*口)	2号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm		
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月				ppm		180 ppm
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング*口)	3号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm		
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月				ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月				µg/m ³	50 µg/m ³	

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和2年6月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,338
		2号炉	2,433
		3号炉	4,449

データ 項目	測定位置	結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	6月30日	928	800 以上
		2号炉	6月30日	952	
		3号炉	6月30日	955	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	6月30日	170	概ね 200 以下
		2号炉	6月30日	170	
		3号炉	6月30日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	6月30日	11	100 以下
		2号炉	6月30日	10	
		3号炉	6月30日	8	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備に たい積したばいじん※ ² の除 去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サブリング*口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法・条例規制値		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング*口)	1号炉	6月25日	7月14日	0.11 m ³ N/h	85.9 m ³ N/h	
	3.1 ppm							
ばいじん	1回/2月					<0.00080 g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					21 mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
	12 ppm							
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング*口)	2号炉	6月11日	6月30日	62 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月					1.6 µg/m ³	50 µg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月					0.38 m ³ N/h	84.1 m ³ N/h	
	11 ppm							
ばいじん	1回/2月					<0.00057 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N	
塩化水素	1回/2月	煙突 (サブリング*口)	3号炉	6月11日	6月30日	25 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N	
	15 ppm							
窒素酸化物	1回/2月					65 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月					4.9 µg/m ³	50 µg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月					0.41 m ³ N/h	86.0 m ³ N/h	
	12 ppm							
ばいじん	1回/2月	<0.00081 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N					
塩化水素	1回/2月	煙突 (サブリング*口)	3号炉	6月11日	6月30日	26 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N	
	16 ppm							
窒素酸化物	1回/2月					74 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月					0.86 µg/m ³	50 µg/m ³	

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和2年7月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,595
		2号炉	379
		3号炉	4,589

データ 項目	測定位置	結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	7月31日	934	800 以上
		2号炉	7月31日	934	
		3号炉	7月31日	943	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	7月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	7月31日	170	
		3号炉	7月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	7月31日	11	100 以下
		2号炉	7月31日	8	
		3号炉	7月31日	9	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備に たい積したばいじん※ ² の除 去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm		
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月				ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月			µg/m ³	50 µg/m ³		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm		
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月				ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月			µg/m ³	50 µg/m ³		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm		
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月				ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月			µg/m ³	50 µg/m ³		

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和2年8月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	1,172
		2号炉	4,524
		3号炉	4,525

データ 項目	測定位置	結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	8月31日	953	800 以上
		2号炉	8月31日	946	
		3号炉	8月31日	941	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	8月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	8月31日	170	
		3号炉	8月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	8月31日	11	100 以下
		2号炉	8月31日	8	
		3号炉	8月31日	9	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備に たい積したばいじん※ ² の除 去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サブリング*口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング*口)	1号炉	8月4日	8月31日	0.056 m ³ N/h	83.1 m ³ N/h
	1.8 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.00077 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					11 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	6.8 ppm						
窒素酸化物	1回/2月					83 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月		3 µg/m ³	50 µg/m ³			
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング*口)	2号炉	8月18日	9月8日	0.41 m ³ N/h	85.9 m ³ N/h
	13.0 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.00074 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					38 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	23.0 ppm						
窒素酸化物	1回/2月					72 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月		µg/m ³	50 µg/m ³			
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング*口)	3号炉	8月18日	9月8日	0.23 m ³ N/h	88.3 m ³ N/h
	6.4 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.00072 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					15 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	9.5 ppm						
窒素酸化物	1回/2月					64 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月		µg/m ³	50 µg/m ³			

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和2年9月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	—
		2号炉	4,457
		3号炉	4,450

データ 項目	測定位置	結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	休炉	—	800 以上
		2号炉	9月30日	950	
		3号炉	9月30日	938	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	休炉	—	概ね 200 以下
		2号炉	9月30日	170	
		3号炉	9月30日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	休炉	—	100 以下
		2号炉	9月30日	9	
		3号炉	9月30日	9	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	休炉
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	休炉
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	9月8日	10月22日	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	9月8日	10月22日	0.000000 ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	9月8日	10月22日	0.000280 ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm		
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月				ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月				µg/m ³		50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm		
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月				ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月				µg/m ³		50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm		
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月				ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月				µg/m ³		50 µg/m ³

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和2年10月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	3,706
		2号炉	4,510
		3号炉	2,384

項目	データ	測定位置	結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)		燃焼室 出口	1号炉	10月31日	933	800 以上
			2号炉	10月31日	949	
			3号炉	10月31日	933	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)		集じん器 入口	1号炉	10月31日	170	概ね 200 以下
			2号炉	10月31日	170	
			3号炉	10月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)		集じん器 出口	1号炉	10月31日	11	100 以下
			2号炉	10月31日	10	
			3号炉	10月31日	10	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備に たい積したばいじん※ ² の除 去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

項目	データ	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ※ ³		1回/年	煙突 (サブリング*口)	1号炉		ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
				2号炉		ng-TEQ/m ³ N	
				3号炉		ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

項目	データ	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物		1回/2月	煙突 (サブリング*口)	1号炉	10月15日	11月10日	0.55 m ³ N/h	86.9 m ³ N/h
ばいじん	1回/2月	16 ppm						
塩化水素	1回/2月	0.00052 g/m ³ N					200 mg/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月	22 mg/m ³ N						
全水銀	1回/4月	13 ppm					180 ppm	
		82 ppm						
硫黄酸化物		1回/2月	煙突 (サブリング*口)	2号炉	10月14日	11月10日	0.16 m ³ N/h	83.9 m ³ N/h
ばいじん	1回/2月	5.3 ppm						
塩化水素	1回/2月	0.00079 g/m ³ N					200 mg/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月	17 mg/m ³ N						
全水銀	1回/4月	10 ppm					180 ppm	
		72 ppm						
硫黄酸化物		1回/2月	煙突 (サブリング*口)	3号炉	10月6日	10月28日	0.35 m ³ N/h	87.6 m ³ N/h
ばいじん	1回/2月	9.9 ppm						
塩化水素	1回/2月	0.00066 g/m ³ N					200 mg/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月	24 mg/m ³ N						
全水銀	1回/4月	15 ppm					180 ppm	
		78 ppm						
		1.3 µg/m ³	50 µg/m ³					

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和2年11月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,442
		2号炉	4,434
		3号炉	—

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	11月30日	930	800 以上
		2号炉	11月30日	958	
		3号炉	11月1日	—	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	11月30日	170	概ね 200 以下
		2号炉	11月30日	170	
		3号炉	11月1日	—	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	11月30日	12	100 以下
		2号炉	11月30日	11	
		3号炉	11月1日	—	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備に たい積したばいじん※ ² の除 去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉 2号炉 3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N ng-TEQ/m ³ N ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h
ばいじん	1回/2月				ppm	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N	180 ppm
全水銀	1回/4月				ppm	50 µg/m ³
全水銀	1回/4月				µg/m ³	50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	11月24日 12月22日	0.36 m ³ N/h	87.3 m ³ N/h
ばいじん	1回/2月				10 ppm	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月				<0.00079 g/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				35 mg/m ³ N	180 ppm
全水銀	1回/4月				21 ppm	50 µg/m ³
全水銀	1回/4月				82 ppm	50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h
ばいじん	1回/2月				ppm	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N	180 ppm
全水銀	1回/4月				ppm	50 µg/m ³
全水銀	1回/4月				µg/m ³	50 µg/m ³

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和2年12月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,384
		2号炉	4,388
		3号炉	1,318

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	12月31日	940	800 以上
		2号炉	12月31日	959	
		3号炉	12月31日	930	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	12月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	12月31日	170	
		3号炉	12月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	12月31日	12	100 以下
		2号炉	12月31日	11	
		3号炉	12月31日	8	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉 2号炉 3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N ng-TEQ/m ³ N ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	12月3日	12月5日	0.42 m ³ N/h 13 ppm	85.0 m ³ N/h
ばいじん	1回/2月					0.00073 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					29 mg/m ³ N 17 ppm	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					75 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					2.1 µg/m ³	50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月					煙突 (サブリング口)	2号炉
ばいじん	1回/2月	g/m ³ N	0.08 g/m ³ N				
塩化水素	1回/2月	mg/m ³ N ppm	200 mg/m ³ N				
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	µg/m ³	50 µg/m ³				
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	/		
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N ppm	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					µg/m ³	50 µg/m ³

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和3年1月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,912
		2号炉	1,948
		3号炉	2,699

データ 項目	測定位置	結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	1月31日	914	800 以上
		2号炉	1月14日	926	
		3号炉	1月31日	925	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	1月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	1月14日	170	
		3号炉	1月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	1月31日	10	100 以下
		2号炉	1月14日	10	
		3号炉	1月31日	10	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備に たい積したばいじん※ ² の除 去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サブリング*口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法・条例規制値		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング*口)	1号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h		
ばいじん	1回/2月				ppm			
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N		0.08 g/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N	
全水銀	1回/4月				ppm		180 ppm	
	1回/4月				µg/m ³		50 µg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング*口)	2号炉	1月12日	1月28日	0.11 m ³ N/h	85.5 m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月					3.5 ppm		
塩化水素	1回/2月					0.00061 g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					19 mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月					12 ppm		180 ppm
	1回/4月					70 ppm		180 ppm
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング*口)	3号炉	1月12日	1月28日	1.90 µg/m ³	50 µg/m ³	
ばいじん	1回/2月					0.3 m ³ N/h		86.2 m ³ N/h
塩化水素	1回/2月					8.8 ppm		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					<0.00075 g/m ³ N		200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月					17 mg/m ³ N		180 ppm
	1回/4月					10 ppm		180 ppm

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和3年2月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,127
		2号炉	—
		3号炉	4,104

データ 項目	測定位置	結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	2月28日	927	800 以上
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	2月28日	947	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	2月28日	170	概ね 200 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	2月28日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	2月28日	11	100 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	2月28日	9	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	休炉
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	休炉
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	2月4日	2月24日	0.27 m ³ N/h	88.0 m ³ N/h
	7.5 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.00069 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					27 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	16 ppm						
窒素酸化物	1回/2月					73 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				2.3 µg/m ³	50 µg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	ppm						
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				µg/m ³	50 µg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	ppm						
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				µg/m ³	50 µg/m ³	

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和3年3月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,449
		2号炉	855
		3号炉	4,426

データ 項目	測定位置	結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	3月31日	936	800 以上
		2号炉	3月31日	946	
		3号炉	3月31日	963	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	3月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	3月31日	170	
		3号炉	3月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	3月31日	12	100 以下
		2号炉	3月31日	8	
		3号炉	3月31日	9	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備に たい積したばいじん※ ² の除 去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	3月16日	3月30日	0.31 m ³ N/h	88.0 m ³ N/h
	8.5 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.00068 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					32 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					20 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					81 ppm	50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					µg/m ³	50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	3月2日	3月23日	0.36 m ³ N/h	85.7 m ³ N/h
	11 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.00071 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					29 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					17 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					74 ppm	50 µg/m ³

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。